

早稲田大学大学院政治学研究科

2020 年度修了生と博士号取得者に贈る言葉

修士課程を修了された皆さん、博士号を取得された皆さん、まことにおめでとうございます。また、皆さんの学業をこれまで支えてこられた、両親、親族そして友人の方々に心からお祝いと感謝を申し上げます。

コロナ禍によって昨年に引き続き本年も修了式の開催を断念せざるをえなくなりました。皆さんと一堂に会して喜びを分かち合う機会を持っていないことは本当に残念でありませんが、現下の状況では感染拡大につながるリスクを避けることが、責任ある行動であると判断した次第です。

しかし、修了式や学位授与式というセレモニーがあろうがなかろうが、皆さんの学問的達成の価値に変わりないことは言うまでもありません。むしろ、この一年間、コロナパンデミックの下での様々な困難を乗り越えて、ここに修士号、博士号を見事に取得されたことは皆さんの真摯な努力の証として誇りうることだと思います。ただ、学位を得ることが皆さんの最終目的ではなかったと思います。政治学研究科で得られた専門的能力、学問的知見をもって今後皆さんの人生を切り開き様々な課題に立ち向かって行くという新たなチャレンジが待っています。まさに皆さんはそのとば口に立たれたと言うことです。

コロナパンデミックは、それ自体が我々にとっての大きなチャレンジではありますが、それを通して我々は社会が抱える様々な課題にも改めて目を開かされました。それらの課題はコロナへの医療的対応以上に困難なものをも含んでいると思います。皆さんは、そのような厳しい現実の社会に歩み出していきます。しかし、私はここであえて、皆さんの前には洋々たる未来が待っていると申し上げたいと思います。これは、あまりにも楽観的な餞のことばに聞こえるかもしれません。たしかに大時代的で古色蒼然とした謂と捉えられそうです。しかし、皆さんが研鑽の末に身につけられた力は、必ずや困難なチャレンジを乗り越えて素晴らしい未来をつくり出す事を可能にすると私は信じています。

本日、このキャンパスを巣立っていく皆さんに、大きな期待を込めてエールを送りたいと思います。

皆さん、本日は本当におめでとうございました。

2021 年 3 月 25 日

政治学研究科長

久米郁男